「入退院連携ガイド Ver. 2 」評価アンケート結果

【アンケートの概要】

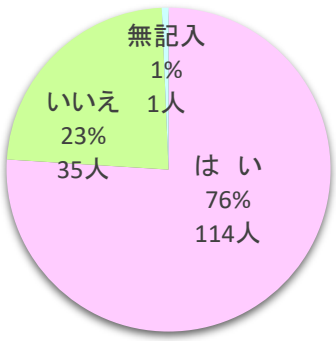
全アンケート対象者 ： ２０３人　回答者 ： ２０３人　回答率 ： １００％

記述意見 ： 集 約 ・ 抜 粋

医療機関編　アンケート対象者 ：１５０人　回答者 ：１５０人　回答率 ：１００％

【入退院連携ガイドについて】

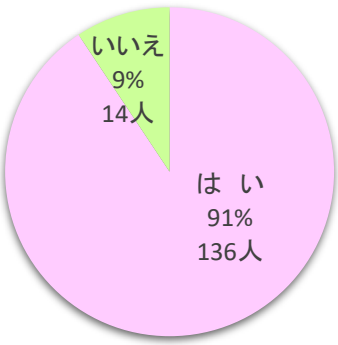
1．「入退院連携ガイド Ver 2 」を知っている



●令和元年度の評価アンケート結果では、「入退院連携ガイドを見たことがある」割合は**６１％**であったが、今回のアンケートでは「ガイドVer2を知っている」という割合は**７６％**と**１５％**増加している。

【入院時情報提供書(様式１)について】

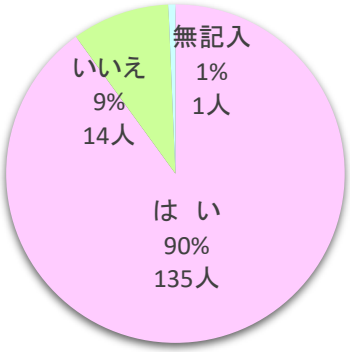
２．介護支援専門員から提出される様式１を活用している



●令和元年度の評価アンケート結果では、「様式１を見たことがある」割合は**８８％**、「参考になる」割合は**９０％**で、今回「活用している」割合が、**９１％**とほぼ横ばいの状態。

●活用していない理由として、「様式１を知らなかった」や「患者を受け持っていない」等あったが、様式１の情報が正確ではないというものもあった。

３．様式１で必要な情報を得ることができている



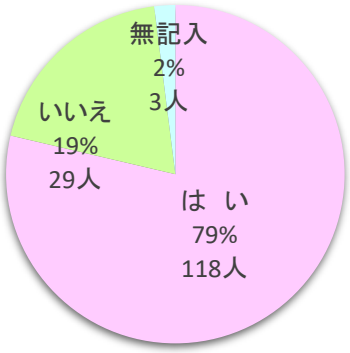
●令和元年度の評価アンケート結果では、様式１が「参考になる」割合が**９０％**と、今回「情報を得ることができる」と同じ割合であった。

●不足している情報としては、
- ・家族構成
- ・本人の性格（キャラクター）
- ・キーパーソンや家族の問題点や人間関係・背景などの情報
- ・希望・要望・介入する上での注意点
- ・移動手段(本人からの情報と異なることがある)　等があった。

※ 情報不足ではないが：家族構成や主介護者な年齢等、記載されていない項目がある。
情報の配布が遅いとの意見があった。

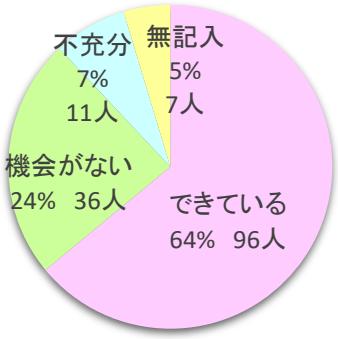
【退院・退所情報記録書（様式２）について】

４．様式２の目的を知っている



●令和元年度の評価アンケート結果では、「情報提供できている」割合が**４９％**で、今回は**６４％**と**１５％**増加している。

５．様式２の内容に基づいた情報提供ができている



＜情報提供が充分ではない理由＞

・様式２の書類がどの様なものか把握していない。
・サマリーの形式が様式２の内容を網羅したものではないため。
・質問の内容が異なったり、状況自体が変わり過ぎた場合

※ **アンケートの趣旨以外の意見**（情報提供が充分でない理由欄に記載されたプラス意見）

・ケアマネジャーの知りたい情報を事前に調べておき伝えることができる。
・コロナ禍で情報収集に苦慮していると思うが、必要な情報が共有できる。
・在宅の支援者と病院が必要に応じ連携できている。

【 そ の 他 】

６．入退院支援の連携についての意見

・サービス未利用のケースの場合、様式１がないため生活状況が分からない。
・退院支援に取り組むタイミングが、病棟で異なるのはおかしいと思う。
・統一された様式で情報収集しやすい。
・退院支援にあたり、本人を主体に関わる人が気兼ねなく連絡し合え、プラス面で物事を進められると良いと思う。
・看護サマリーの内容が、ケアマネや福祉サービス事業者の方にわかりやすいか、どう思われているか気になります。

医療機関のアンケート結果と課題

「入退院連携ガイド　Ver２」を知っている割合は前回調査時より増加し、周知が図られたことが窺がえました。

様式１については、活用している割合は横ばいではあるが、入退院に関わる方は概ね活用している。また、様式２も周知が図られ、情報提供がスムーズに行われている様子が窺えました。

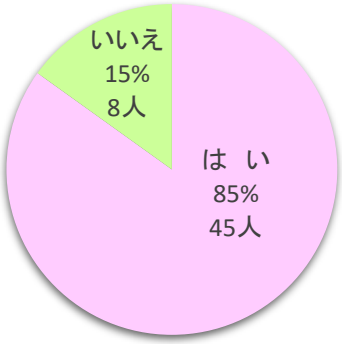
今回のアンケート調査から、在宅生活に戻るための重要な情報となる「様式２」の内容を、医療職サイドが理解し活用を進めることにより、更に退院支援の充実が図れ連携がスムーズになると考えます。

「入退院連携ガイド Ver. 2 」評価アンケート結果

包括・居宅編　　アンケート対象者 ： ５３人　回答者 ： ５３人　回答率 ： １００％

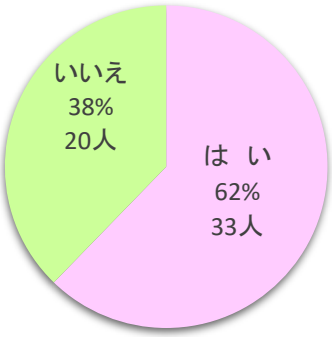
【入退院連携ガイドについて】

１．「入退院連携ガイド　Ver2」を知っている



●令和元年度の評価アンケート結果では、「入退院連携ガイドを見たことがある」割合は**９４％**であったが、「Ver２」のガイドを知っているという割合は**８５％**と**９％**低下している。

2．「入退院連携ガイド　Ver2」を活用ている



●ガイドの活用割合も、令和元年度「はい」「時々」を合わせて**８１％**から、**６２％**と**１９％**低下している。

●ガイドを活用していない理由として、
・Ver2になったことを知らなかった。
・ガイドを活用しなくても医療と連携できており、入院時情報提供書の記入もできる。
等が挙げられていた。

【入院時情報提供書（様式１）について】

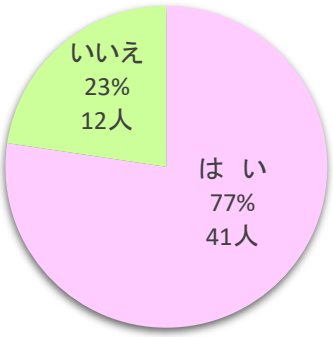
３．様式１で、不十分な点、修正が必要なこと追加して欲しい項目

＜追加・修正してほしい項目＞

〇ジェノグラム：記入しづらい。　〇チェックボックス：レ点が小さくわかりづらい。
〇記載項目：細か過ぎ、ボリューム・ページ数が多い。
〇標記ミス、入力できない箇所がある。
※　チェックボックスで使いやすくなった、枠が大きくなり書きやすいとの意見も見られた。
●標記ミス、入力できない箇所の修正は行う。しかし、項目については、厚生労働省の様式に基づいており、糸魚川地域として増やすことは可能と考えるが、減らすことは難しい。

【退院・退所情報記録書（様式２）について】

４．様式2を活用ている



＜活用していない理由＞
・対象者がいなかった。　・これまで使ったことがない。
・退院サマリーをもらっている。　・直接の確認で間に合っている。
・知らないため。　・まだ退院・退所に関わっていない。
・ほとんどのケースが状態変わりなく退院されているため。

●様式２の活用割合は、令和元年度より**３％**増加している。
●様式２を活用していない**２３％**の内、**１９％**が包括の方で、居宅の方は**４％**であった。

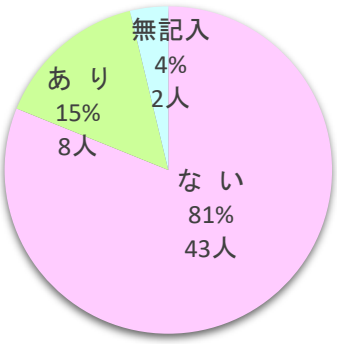
5．様式２で、不十分な点、修正が必要なこと追加して欲しい項目

・現在の状態を文章で記入する欄、入院中の経過や介護状況を記入できる欄が欲しい。

・特別になく、十分活用できている。

【病院からの情報収集について】

6．情報収集で困ったこと



＜困った内容＞

・担当看護師がいない、病棟が変わったばかり等の理由で十分な確認ができなかった。

・コロナ感染症の影響で、面会できずリハビリの様子も確認し難い。

・病棟とリハ見学で情報が異なることがある。

・本人と家族が会えないことで、病状説明がどこまでされているのか把握しずらい。

【そ の 他】

7．入退院支援の連携についての意見

【良い点】

・MSWやNsからデータを確認しながら返答いただき、知りたい情報も聞きやすくなった。

・コロナ禍でもリハビリ見学、情報収集によりサービス調整ができた。

【情報提供書について】

・様式の項目が細かく設定されており、情報収集もれが予防できている。

・提出時、ケアプランや既存のADL表で済む所はわざわざ記入しなくても良いのでは。

【その他】

・コロナ感染対策の為面会制限があり、家族が本人の様子を確認できない為、意向や支援方法の確認がとりずらいと感じた。

・退院後すぐにサービス利用が必要な場合もあり、サマリーが遅く困ることが多々ある。

・本人・家族の意向、退院後の生活を考えた入院中の支援をお願いしたい。

包括・居宅のアンケート結果と課題

「入退院連携ガイド　Ver２」を知っている割合が低下した原因としては、「Ver２」になったことの周知が、不十分だったことが窺がえました。

また、ガイド活用割合も低下していますが、ガイドを活用しなくても日常業務の中にガイドの内容が浸透しており、医療との連携ができている様子も窺えました。

今回のアンケート調査から、「入退院連携ガイド」の大幅な修正等は必要はなく、退院・退所後の在宅生活を支えるために必要な「様式２」による情報収集がよりスムーズに行えるよう、病院との連携を図る必要があると考えます。

今後の方針

◎　今回は「入退院連携ガイド　Ver２」となり１年後の評価アンケートで、「Ver２」になったことの周知の不十分さが窺えたが、「ガイド」自身は『医療機関』・『居宅・包括』いずれにおいても浸透している。
また、「様式１」「様式２」も定着してきていることが窺えた。
在宅生活に戻るための重要な情報となる「様式２」の内容を、ケアマネジャー・病院双方が理解し共通認識することで、更に退院支援の充実が図れ連携がスムーズになると考えます。
今後とも入退院支援の取組みにご協力をよろしくお願いします。
なお、ガイド及び様式について不都合がありましたら、事務局まで随時お知らせください。